

# 久多・百井 かがやき新聞 新年号

## 百井 チマキザサのお話をうかがいました

11月30日（木）、12月18日（月）百井にお住まいの宮田武子さん、林自治振興会長に、チマキザサについてのお話をうかがいました。

《宮田武子さん》別所でチマキザサを収穫、加工、出荷していることがきっかけで、昭和30年代後半から百井でも始めました。深い山へ入ってササを収穫し、色、形がよいものを「夜なべ仕事」で選別し、天気の良い日に100枚を一束にしたものを軒先に干し、丁度よい乾燥具合になると出荷しました。今から10年ほど前にササが一斉に無くなってしまいましたが（周期的開花と獣食害が原因）、歳をとってからは作業が大変でしたから「なくなってほっとした」という気持ちもあります。

《林会長》ササが百井から一斉に減少した時は、（思子淵神社の神事）湯上げまつりに使用するササを探すのに苦労した。家庭で作るチマキにもササを使うため、採集場所が減少しているのは悩みのひとつで、（獣食害で）ササがなくなってしまうと神事もできない。

ササ生態回復を目指している研究者と、ボランティアが柵の設置を頑張っていることも知っているが、ササ保全用の柵はそれほど大きくないため、集落一帯にササが復活するのは難しいのではないかと思います。

## 久多 農家民宿での里山体験イベントは大成功でした

12月9日（土）、10日（日）久多、別所で農家民宿を営む方々が実施したイベント「農家民宿での里山体験」に、5組12名の方が参加し、しめ縄作り、餅つき、とちへし等を体験しました。「清涼な空気を味わえて嬉しかった」と、参加者の声が聞かれ、まちとは違う「環境」を楽しんでおられたのが印象的でした。主催された方からは「孫が増えたようだった」「思いがけず共通の話題で盛り上がった」「次があれば教えてくださいと電話をもらった」などの声を聞き、これから先につながるイベントになったことを嬉しく思いました！

## 市長ハートミーティングに参加しました

12月11日（月）京都市役所で、門川市長と京都市北部山間かがやき隊員7名のハートミーティング（意見交換会）が行われました。

わたしは「まちと森都市～交流が育む明るい未来～」と題して、花笠踊、松上げ、湯上げまつりなどの「伝統行事」や、里山まつり、ハスマつりなどの「地域おこし行事」を、インターネットで広く発信して「左北山間地域」の情報を知っていただく機会を増やす。そして、それらの行事に参加された方々と日常的に継続してつながり、「ふるさとへの愛着」のような気持ちをゆっくりと育むことができれば、「自然も人も豊かな左北山間地域」への定住につながるのではないかと発表しました。

市長からは、「京都市北部山間地域は豊かな自然、歴史、文化があり、京都遺産に認定されるような魅力が大いにある」とのコメントをいただき、より多くの方々に左北山間地域の魅力をお伝えすることが、深い意義を持っていると感じました。



ササを日干している様子（別所）。かつて百井でも盛んに行われ写真家が訪れたという。



久多もち組合加工場で「とち餅」作りをしました。お父さんが杵を搗き、娘さんが応援！



京都市北部山間地域には、左京区2名、北区1名、右京区4名の隊員が活動しています。



1月15日より左北山間自治連のホームページを公開予定です。地域情報に修正箇所等があれば、ご指摘ください。

京都市文化市民局 地域自治推進室  
京都市北部山間かがやき隊左京区担当

南 佳孝

Mail: [miqdc318@city.kyoto.lg.jp](mailto:miqdc318@city.kyoto.lg.jp)  
久多出張所 tel:075-748-2020

◎これまでの暮らしでは体験したことのない「寒さ」「雪」に驚いています！暖房費が想像以上にかさみますが、静かな夜は家族団らんの時間につながります(^-^)